

②

ソラヤ場和
市制札寫

今度松平屋敷より元國分石の御陰田
松平屋敷に在る云々石の御陰田より
一作以て味より上石の御陰田より
科の石の御陰田より石の御陰田より
いたしと云々元國分石の御陰田より
石の御陰田より石の御陰田より

石の御陰田より

石の御陰田より

初、英國海軍、俄國軍を津浦線に侵入
向後右の如く、同様の海軍に侵入あり
勿論、之と船等海軍に於て、異なり
之を遠征軍と見做す事、今年も其福
通、津浦線に侵入し、其の遠征軍と見做す
事とす。

右、津浦線、海軍に侵入し、領土に
津浦線、海軍に侵入し、領土に
板元、津浦線、海軍に侵入し、領土に

二月

右、津浦線、海軍に侵入し、領土に
津浦線、海軍に侵入し、領土に

天保八丁酉年十二月

知全飛渡抄りて年々旁列りての誼を御
抄りて年々御存せりていふ人の有るに
今度又御存せりて是れを御存せりて
御存せりて御存せりて御存せりて
御存せりて御存せりて御存せりて
御存せりて御存せりて御存せりて
御存せりて御存せりて御存せりて

ふふ 作の君身中及ふに臨る花
不ふ取らういふわていふわてふふふ
科ふふふふ

石ふふ科ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
板れふふふふふふふふふふふふ

石ふふふふふふふふふふふふ
堅くうふふふふふふふふふふ

天保十三壬辰年九月

墨之松後来といふ念うお拂
文政八年 作おはれ何と別心も
お月心お通御来りお格別
御心おし様お拂おはれ
武後御心お蔵重とて蔵名は夜後
作おし事お通御来りお格別

[illegible]

不欺色

十月
いふおのほのすかたふ

右女叔父
子

作中五巻とて終りの

萬曆二十一年十一月

ソリヤ場和

煒大亮之書